

## 瀬戸内市タウンミーティング議事録（中央公民館）

平成28年8月28日（日曜日）

午後1時～午後2時50分

中央公民館（邑久）1階研修室

参加者：男性14人、女性3人 合計17人（事務局は除く）

### 【意見交換】

- ・都会に比べて、瀬戸内市の行政関係や人間関係は濃すぎるのでは。雰囲気は堅苦しく、都会の人が移ってきにくいと思う。例えば、市の広報紙などは行政委員ではなく、業者に配らせたほうがよいのではないか。

瀬戸内市は例えば大都市に比べると行政と市民の関係が近い。行政を行う上で、互いに気軽に話ができたり、協力できるのはよい点だが、一方でご指摘のとおり関係が近いが故に気に係ることもありやりにくい部分もある。いい部分をまちづくりに活かしながら、昔のような村社会の部分はなくしていく。去年から広報紙の配布は、シルバー人材センターに委託をして行政委員まで持って行ってもらい、行政委員から各戸に配布をお願いしている。すべてを配達にするとお金がかかりすぎるので、難しい。また、新聞をとっていない家は意外と多く、折込みだけでは届かない家が多くなってしまふ。市民と行政委員、行政委員と市役所が繋がり、色んな情報交換ができるという点においては、現在の配布方法の利点の一つであると思う。

- ・役員の防災行政無線の個別受信機が機能しておらず、無線が聞こえない。役員が改選して4月から7月までは聞こえていたが、8月から聞こえなくなった。担当課からは山に問題があると言われた。9台あってほとんど聞こえない。（上笠加）

早急に担当課へ報告します。

- ・牛窓に火葬場があるのに他の火葬場の整備は必要なのか。
- ・市は交番の数を減らしていく方針があるのか。

現在、牛窓火葬場は基本的に牛窓町に住んでいる人しか利用できない。新しい火葬場をつくると、牛窓は閉鎖することになる。新しい火葬場は岡山市と協力をして造っていければと思っている。

今城地区と本庄地区の駐在所が廃止の対象になっている。市内には駐在所と交番の2種類があり、交番は長船にしかなかったが、邑久の市役所前の駐在所は交番に代わった。駐在所は実際に人がいないことが多いが、交番は24時間必ず警官がおり防犯レベルが高い。交番を増やすと駐在所を減らさないとならない。駐在所が減ることで防犯レベルが下がるといわけではない。

- ・有害鳥獣の駆除の協議会について行政の力を貸してほしい。

有害鳥獣の協議会は具体的に検討はこれからだが、国からの補助金を受け取る枠組みとして協議会は必要である。捕獲のみではなく、防護柵の設置、環境管理も含めて総合的な対策を行わないとなかなか鳥獣被害は減らせない。問題解決には、地元と行政が協力して対策をする必要がある。

- ・同じ日に町内会の行事と市の行事が重なってしまうので、市の行事の情報提供をもう少し早くしてほしい。

瀬戸内市ではボランティアや地域のために動く人が多く、イベントや行事は毎週どこかで行われている状態である。イベントの情報はできる限り一元化してホームページに掲載し、なるべく早く市民の方に伝わりやすいように努めていく。

- ・町全体が儲かる方法をふるさと納税以外にも考えるべきではないか。

ふるさと納税には他市と比較して、頼っていない方である。錦海塩田の貸付料収入は貴重である市の基金で日本の国債を買い取り、運用している。企業誘致も進めている。